

経営比較分析表（令和6年度決算）

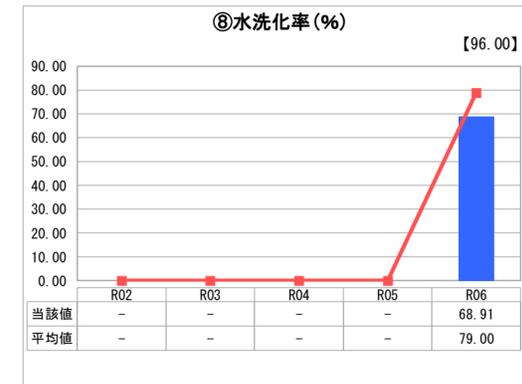
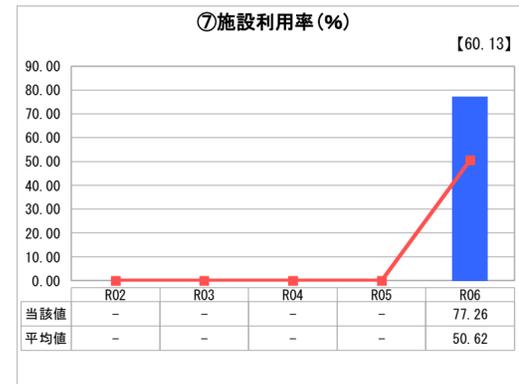
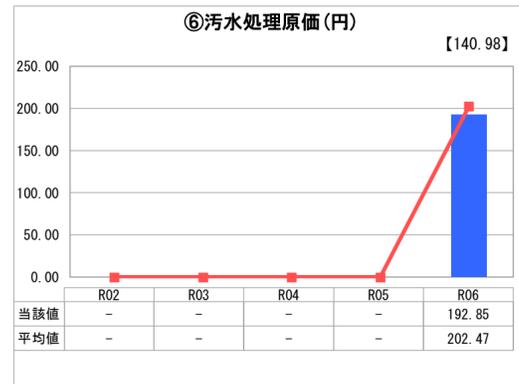
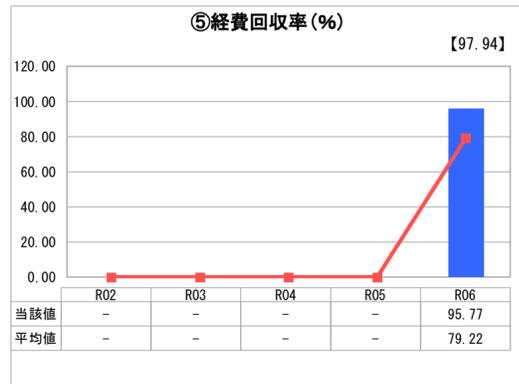
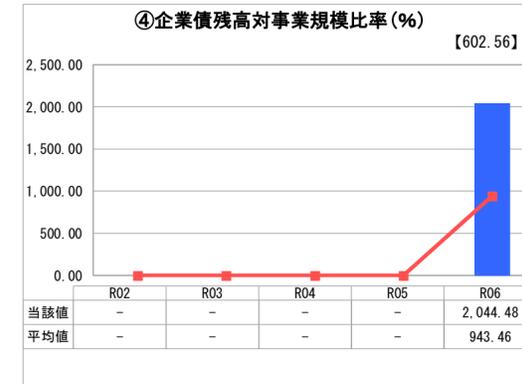
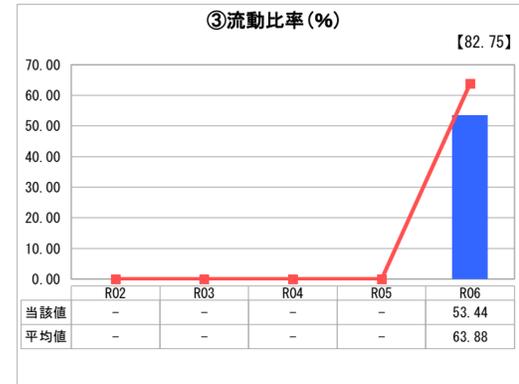
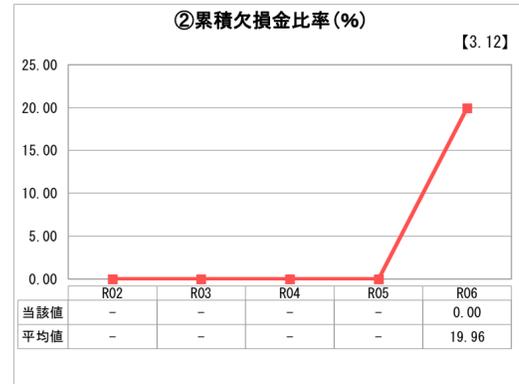
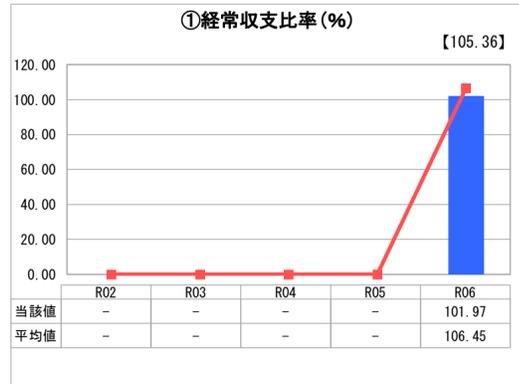
岐阜県 垂井町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	62.05	67.58	67.85	3,850

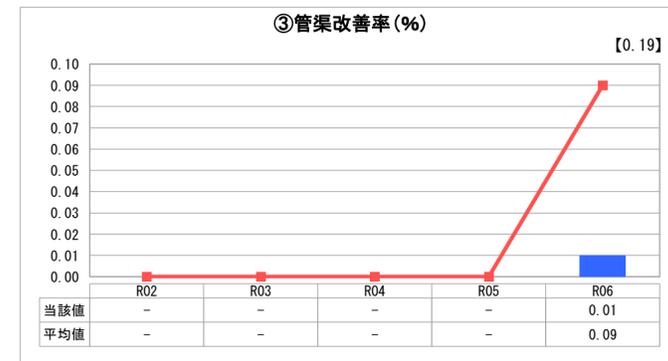
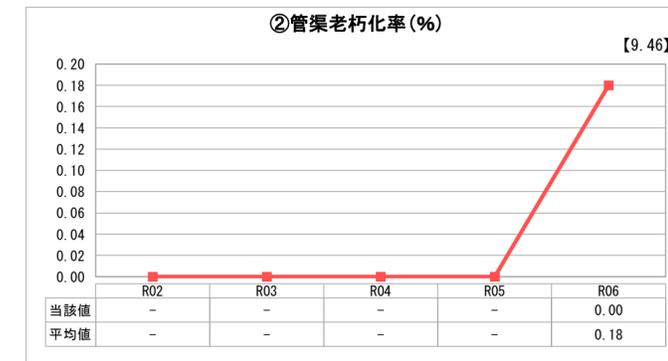
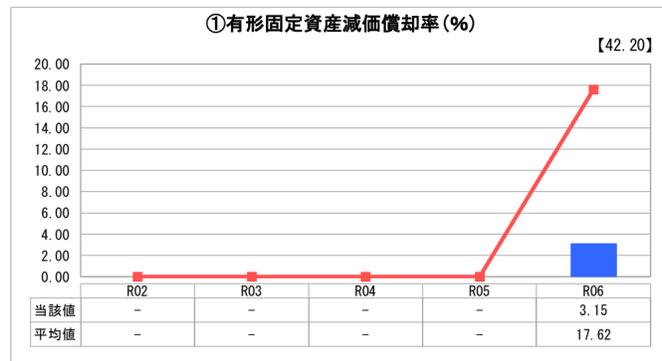
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
25,746	57.09	450.97
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
17,322	6.11	2,835.02

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当町は、今年度（令和6年度）より地方公営企業法を適用したため、前年度以前は数値なしとなっています。

- ・経営の健全性について
経常収支比率は100%を上回っていますが、経費回収率は100%を下回っています。これは、当年度の収支は黒字ですが、使用料で回収すべき経費を使用料で賄っておらず、一般会計繰入金等の使用料収入以外の収入に依存しているといえます。主な理由につきましては、汚水処理施設整備構想による委託料の増加、法適用に伴う印刷製本費の増加等です。また、企業債残高対事業規模比率につきましては、類似団体と比較して高い数値となっております。これは、令和2年度から令和8年度にかけて行っている浄化センター水処理施設増設工事に伴い企業債の発行額が増加しているためです。下水道の整備区域の拡張に伴い、今後は使用料の増加が見込めますので、経費回収率の向上及び企業債残高対事業規模比率の低下に努めていきます。
- ・経営の効率性について
施設利用率につきましては、類似団体と比較して高い数値となっておりますが、令和8年度の浄化センター水処理施設増設工事の完成により減少する見込みです。しかし、今後の下水道の整備区域拡張により再度増加が見込まれます。水洗化率につきましては、類似団体と比較して低い数値となっておりますので、広報等でPRを行い接続率の向上を図っていきます。

2. 老朽化の状況について

浄化センターは平成14年度に供用開始をしました。

現在は、法定耐用年数に近い資産が少なく、有形固定資産減価償却率、管渠老朽化率ともに類似団体と比較して低い数値となっております。

今後は電気・機械設備等の更新が考えられますので、ストックマネジメント計画に基づき計画的な更新を行います。

全体総括

当年度は黒字となりましたが、汚水処理費を使用料だけでは賄えず、若干ですが一般会計繰入金等にも依存しています。

また、現在は浄化センター水処理施設増設工事を実施していますので、工事費用の財源である企業債が増加しており、使用料収入に対する企業債残高は類似団体と比較して高い数値となっています。

ただし、下水道の整備区域は拡張中ですので、使用料は増加していく見込みです。

令和6年度より法適用事業となりましたので、経営状況をより正確に把握し、経費の削減に努めながら、計画的な施設の更新や安定した汚水処理サービスの提供に努めてまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。